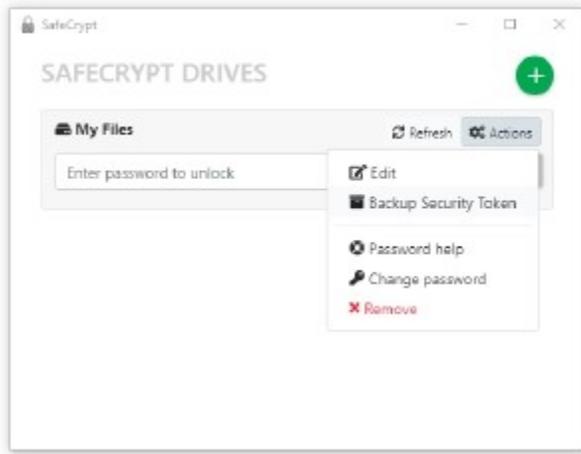


SafeCrypt その他設定

SafeCrypt ドライブがロックされている間、Action メニューが利用できます。



編集

名前、System Storage、および SafeCrypt ドライブの場所は、最初に作成されたときから変更できませんが、System Storage を変更する場合、ファイルを新しい場所に手動で移動する必要があります。SafeCrypt は、自動でファイルを移動しませんので、ご注意ください。

バックアップセキュリティトークン (Backup Security Token)

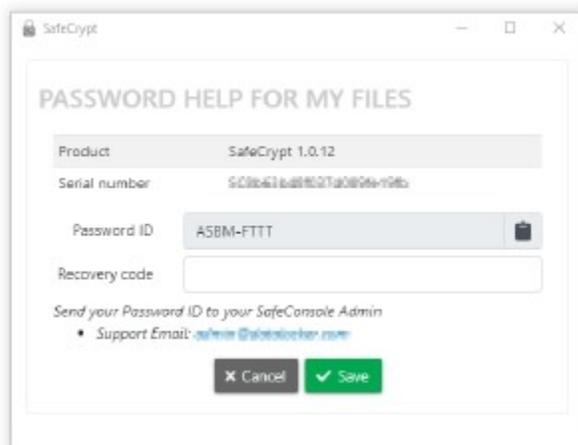
セキュリティトークンをバックアップしておくことで、そのファイルをインポートして、暗号化されたファイルにアクセスできます。このインポートは、不慮の事故等で同じマシン等で SafeCrypt の設定を復元することも、他のマシン SafeCrypt ドライブへの同時アクセスを許可することも可能です。

実行ボタンを押すと、セキュリティトークンを SCM ファイルとして保存する場所を選択するよう求められます。このファイルは、インポートして元の仮想ドライブにアクセスするため必要なので、SafeCrypt の仮想ドライブボリューム内に保存しないでください。また、このファイルは安全に保管する必要があります。

注：データのバックアップと復元には、セキュリティトークンとともに、システムストレージのバックアップも作成する必要があります。この中には、SafeCrypt ドライブに保存されているファイルの暗号化されたコンテンツが含まれます。セキュリティトークンは、設定ファイルであり、仮想ドライブに暗号化して保管されたデータではありません。

パスワードヘルプ

SafeCrypt ドライブのパスワードを思い出せない場合は、SafeConsole Administrator がパスワードヘルプを使用して新しいパスワードの設定を支援します。選択すると、ドライブのシリアル番号とパスワード ID が表示されます。パスワードリセットを実行するには、この情報を SafeConsole Administrator (dl@itdirect.co.jp) に提供する必要があります。SafeConsole 管理者から受け取った Recovery code を入力します。正しい場合は、パスワードポリシーに適合する新しいパスワードを作成するよう求められます。



SafeCrypt

PASSWORD HELP FOR MY FILES

Product: SafeCrypt 1.0.12

Serial number: SC004314488027a0006e196b

Password ID: ASBM-FTTT

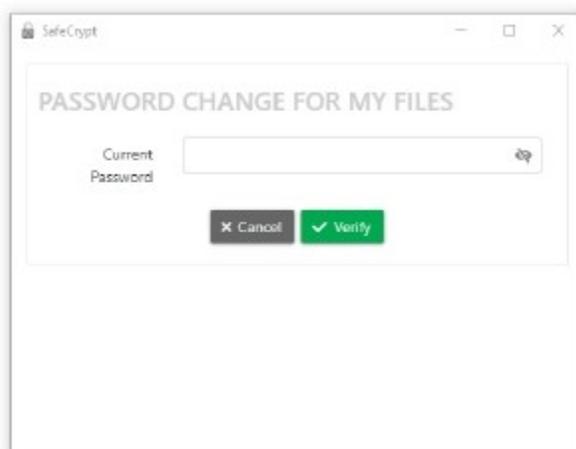
Recovery code:

Send your Password ID to your SafeConsole Admin

• Support Email: support@datalocker.com

パスワードを変更する

現在の SafeCrypt Drive のパスワードを知っている場合は、いつでもパスワードを変更できます。新しいパスワードは、SafeConsole 管理者が設定したパスワードポリシーの現在の要件を満たす必要があります。



SafeCrypt

PASSWORD CHANGE FOR MY FILES

Current Password:

削除する

オプション：この設定は、SafeConsole 管理者によって無効にされている場合があります。このオプションを使用できない場合は、SafeConsole 管理者に連絡して、ドライブをリモートで削除してください。

警告：これにより、SafeCrypt ドライブに保存されているすべてのデータが削除され、元に戻すことはできません！

この操作により、ドライブとその内容がコンピューターから削除されます。また、SafeConsole からデバイス登録を削除し、ライセンスシートを解放します。確認されると、ドライブはなくなり、セキュリティトークンのバックアップがあっても再インポートできなくなります。

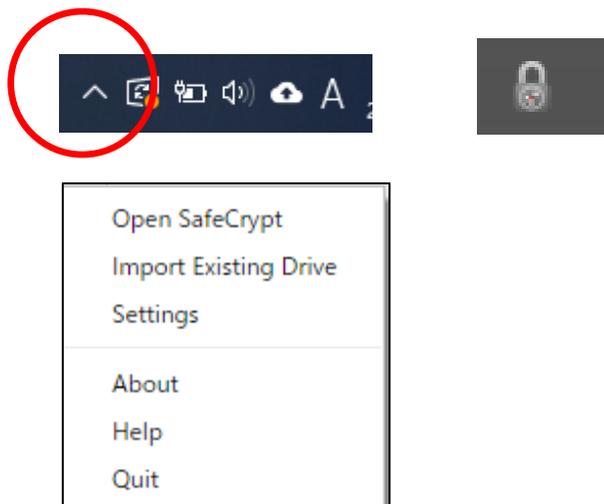
バックアップセキュリティトークン（Backup Security Token）ファイルのインポート

バックアップセキュリティトークンファイルとシステムストレージの両方が利用可能で、また、パスワードがわかっている場合、SafeCrypt ドライブを復元できます。SafeCrypt ドライブがアクションまたはアンインストール中により削除されると、バックアップセキュリティトークンファイルがインポートできなくなりますので、ご注意ください。

このプロセスは、新しいコンピューターや 2 台目のコンピューターに、例えばクラウド上のネットワーク仮想ドライブをインポートする場合でも同じです。複数台のコンピューターで、同じ SafeCrypt 仮想ドライブを同時に使用できます。

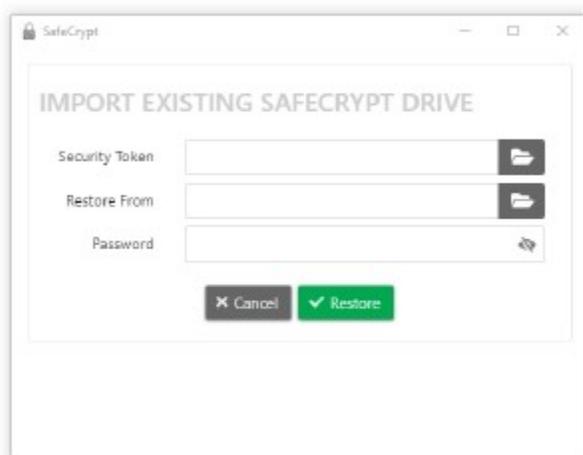
SafeCrypt ドライブをインポートするには：

1. SafeCrypt を起動します。
- 3.システムトレイで SafeCrypt アイコンを見つけて、右クリックします。[ドライブのインポート]メニューをクリックします。



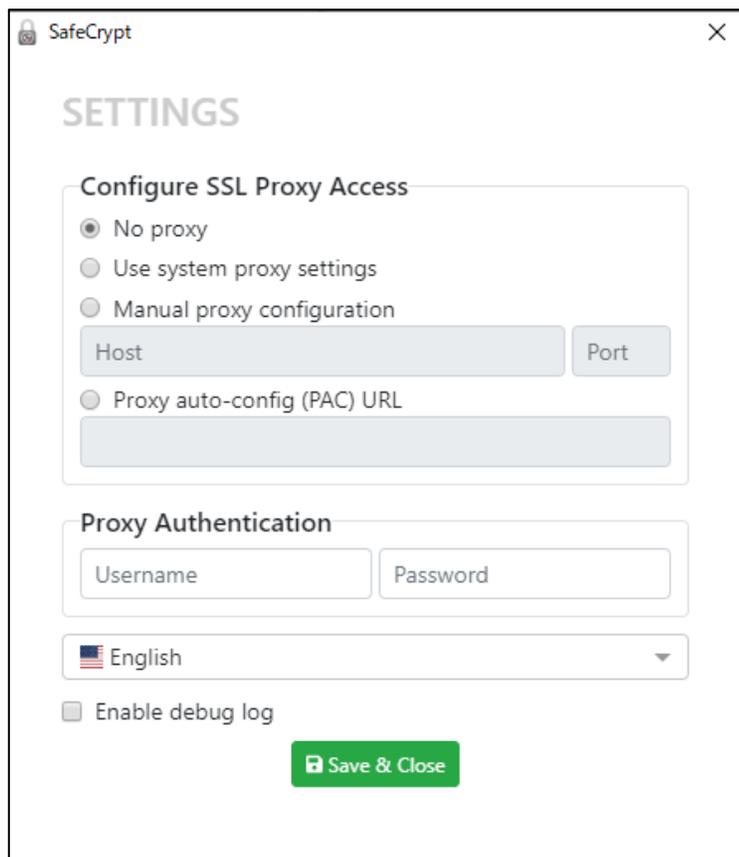
SafeCrypt は、以前のコンピューターの設定に基づいて、System Storage Location に自動的に入力します。これが新しいコンピューターで異なる場合は、[インポート元]で新しい場所を指定します。

- 4.ドライブのパスワードを入力し、[インポート]をクリックします。これで、ドライブが SafeCrypt リストに追加されます。



Setting

ユーザー設定にアクセスするには、同様にシステムトレイを右クリックして[Setting]をクリックします。



プロキシ

プロキシ設定を使用するには、ネットワーク管理者から提供された設定を入力します。

デバッグを有効にする

デバッグモードを有効にする必要があるのは、DataLocker テクニカルサポートから要求された場合のみです。この設定を完全に有効にするには、SafeCrypt を再起動する必要があります。

デバッグログは、システムトレイの SafeCrypt アイコンを右クリックし、[バージョン情報]、[ログファイルの表示]の順にクリックして見つけることができます。

バージョンアップ

SafeCrypt は、Windows システムと macOS システムの両方で自動的に更新されます。SafeCrypt が開始されるたびに、アプリケーションは新しい更新をチェックします。新しいバージョンが利用可能な場合、SafeCrypt を更新するように求められます。インストールする前に、Web ブラウザで新しいリリースノートを表示できます。

更新を手動で確認するには、システムトレイの SafeCrypt アイコンを右クリックし、[バージョン情報]、[更新の確認]の順にクリックします。